3 個別事業の進捗状況

基本目標1　子育て家庭の「育児力」の向上

【進捗状況欄】 ○ ・・・ 概ね実施した　　－ ・・・ 今後実施予定　　× ・・・ 当該年度事業予定なし　　終 ・・・ 事業終了

プランNO.	事業名	事業内容	今後の方向性	20年度実績		所管課
				執行状況	進捗状況	
1	子育て支援総合コーディネート事業	「子育て支援館」に子育てコーディネーターを配置し、各種子育てサービスの情報収集、インターネット等を活用した情報提供を行う。また、子育てに関する相談を受け、サービスの提供に必要な援助や関係機関との連絡調整を行う。	新規	子育て支援館で、インターネット等を活用した子育て支援情報の提供や子育てに関する相談を実施し、助言・指導や他関係機関との連絡調整を実施した。	○	子育て支援課
2	子育て支援関連ホームページの運営（子育て支援ホームページ・子どもホームページ）	各種子育て支援サービス等が利用者に十分に周知されるよう、ホームページを活用した子育て支援情報等の提供を行う。また、子どもたちにとって有益な情報が得られるよう子どもホームページの掲載内容の充実を図る。	拡充	H19年度　子ども交流館ホームページへ統合	終	子ども家庭福祉課
3	子どもと家庭のハンドブック作成	各種子育て支援サービス等が、利用者に十分に周知されるよう、「子育て支援」、「各種助成制度」など、各種行政サービス等の概要を説明した冊子を、福祉事務所、保健センターなどで配布する。今後、見やすい・わかりやすい冊子とすため、掲載内容の見直しなど内容の充実を図る。	拡充	見直し内容：①表紙（4ページ）を両面カラー印刷とし、「かかりつけ医をもちましょう」など子育てに関する情報を広く紹介した。②子育てハンドブックへ意見を募集する記事を掲載した。③掲載事業を見直すとともに、写真、地図、イラストを効果的に掲載することで紙面の構成をもわかりやすくした。30,000部作成	○	子ども家庭福祉課
4	子育てマップの作成	各種の子育て支援サービスが利用者に十分に周知されるよう、行政、地域住民、地域の子育て支援団体（育児サークル、NPOなど）の協働により、保育所、幼稚園などの公立施設、小児科などの病院、遊び場や地域ごとの子育てに役に立つ情報を収集し、マップを作成・配布する。	新規	実施に向けての検討を行った。	－	子ども家庭福祉課
5	子育て支援情報紙「いきいき子育て」の発行	年2回、幼児期からの家庭・地域の教育力向上を図るため、子育て支援に関する情報等を提供する。	維持	9月と1月に各88,000部を発行した。	○	教育委員会企画課
6	子育て支援館の運営	親子の自由な交流・情報交換の場、各種子育て相談、育児講座、ファミリー・サポート・センター事業など子育てを総合的に支援する基幹型子育て支援センターを整備する。	新規	子育て支援館の運営を行った。	○	子育て支援課
7	地域子育て支援センター事業	遊びを通じた親子のふれあいの場の提供、各種相談指導、子育てサークルへの支援、子育てに関する情報提供を行う。	拡充	子育て支援館及び市内7か所の保育所（園）で地域子育て支援センター事業を実施した。	○	子育て支援課

プランNO.	事業名	事業内容	今後の方向性	20年度実績 執行状況	20年度実績 進捗状況	所管課
8	子育てリラックス館運営事業	家庭や地域での子育て支援機能の強化、子育てへの不安感や精神的負担感等の解消を図るため，各区2館体制とする。	拡充	中央区に1館開設し、市内10か所で子育てリラックス館運営事業を実施した。	○	子育て支援課
9	子育てサポーター・家庭教育アドバイザー配置事業	子育てサポーターは、公民館で活動している子育てサークルや家庭教育学級等の相談、子育てに悩みや不安をもつ親等保護者に対して、指導または相談に応じる。また、家庭教育アドバイザー（臨床心理士有資格者）は、必要に応じ、専門的な立場から相談に応じるほか、子育てサポーターへの助言等も行う。今後とも、子育てサポーターの研修等を通じて、質的向上を図るとともに、本事業をより多くの方に周知する。	維持	子育てサロン「子育てママのおしゃべりタイム」などを中心に、子育てサポーターは延242回、家庭教育アドバイザーは延11回の活動を行った。子育てサポーター各区3名、家庭教育アドバイザー各区1名	○	生涯学習振興課
10	乳幼児医療費助成事業	保険診療の範囲内で、保護者負担額を除いて医療費の自己負担額を助成する。 【平成18年7月まで】 4歳未満児：通院、入院 4歳～小学校就学前児：継続して7日以上の入院 【平成18年8月から】 小学校就学前児：通院、入院	維持	小学校就学前児の通院・入院の医療費の一部を保険診療の範囲内で助成した。	○	子育て支援課
11	児童手当支給事業	家庭生活の安定と児童の健全育成を図るため、「児童手当」を支給する。 第1子・第2子（3歳未満） 10,000円（月額） （3歳～小学校修了前） 5,000円（月額） 第3子以降（0歳～小学校修了前） 10,000円（月額） 【平成18年3月まで】 小学校3学年修了前まで 【平成18年4月から】 小学校修了前（12歳到達後の最初の年度末）まで 【平成19年4月から】 乳幼児加算創設 （3歳未満 一律1万円）	維持	小学校修了前までの児童を養育する方に手当を支給した。	○	子育て支援課
12	出産育児一時金	出産費用の負担を軽減するため、国民健康保険被保険者の出産時に、出産児1人につき35万円（産科医療補償制度対象の場合は38万円）の出産育児一時金を支給する。 【平成18年10月から】 35万円 【平成21年1月から】 産科医療補償制度対象の場合は38万円	維持	出産育児一時金を1,343件支給した。	○	健康保険課
13	出産費貸付金	出産育児一時金の支給が見込まれる場合に、35万円（産科医療補償制度対象の場合は38万円）を限度として、出産に要する資金を貸付ける。 【平成18年10月から】 35万円 【平成21年1月から】 産科医療補償制度対象の場合は38万円	維持	72件の出産費貸し付けを行った。	○	健康保険課

プランNO.	事業名	事業内容	今後の方向性	20年度実績		所管課
				執行状況	進捗状況	
14	助産施設	助産施設へ入所し、出産した妊産婦に助産費用を支出する。	維持	助産施設へ入所し、出産した妊産婦に助産費用を支出した。3施設、延べ29人	○	子ども家庭福祉課
15	私立幼稚園就園奨励費補助金（市単、国庫補助）	市内私立幼稚園及び周辺市外私立幼稚園に就園する園児の保護者に対し、助成金を支給することにより、保護者の経済的負担を軽減し、幼稚園就園を奨励する。	拡充	私立幼稚園児　17,634人に補助を実施した。	○	学事課

基本目標2　地域の「育児力」の向上

【進捗状況欄】○・・・概ね実施した　－・・・今後実施予定　×・・・当該年度事業予定なし　終・・・事業終了

プランNO.	事業名	事業内容	今後の方向性	20年度実績 執行状況	20年度実績 進捗状況	所管課
16	子ども交流館の運営	児童の健全育成の拠点施設として、市内の中心部に、子どもたちの交流の場、スポーツ・音楽など、子どもたちのさまざまな活動を支援するため、児童センターを設置する。	新規	指定管理委託料及び管理組合負担金。 利用者数　延べ123,647人、登録者数20,319人	○	子ども家庭福祉課
17	地域子ども教室推進事業	子どもたちの居場所を確保し、子どもたちの放課後、スポーツや文化活動などの様々な体験活動や地域住民との交流活動等を支援する。	維持	18年度で終了（国の委託事業）	終	生涯学習振興課
18	特別教室開放推進事業	土・日曜日に、学校の特別教室を開放し、子どもの居場所を作る。平成17年度のモデル事業終了後、19年度、要綱を策定し、花見川区と緑区で実施している。	維持	瑞穂小学校（花見川区）、扇田小学校（緑区）で実施した。	○	生涯学習振興課
19	公民館主催事業（少年教育）	公民館主催の少年教育事業の一環として、少年に学習機会を提供するための講座を開設する。今後とも、子どもたちの学習ニーズにより対応した講座の開設を図る。	維持	子ども科学教室など270事業を実施した。延受講者数8,547人。	○	生涯学習振興課
20	公民館等における指導者及び各種ボランティア養成	団体・グループ活動の中心となるリーダー等の養成の一環として、子どもを対象とする活動に携わるリーダー・ボランティアの養成を図り、各種活動の充実に努めるとともに、社会のニーズにより適合した講習会等の充実を図る。	拡充	ジュニアリーダー養成講座など4事業を実施した。延受講者数329人。	○	生涯学習振興課
21	子どもルーム整備・運営事業	小学校低学年の児童を対象に授業終了後に遊び及び生活の場を提供するため、小学校の空き教室及び民間施設等を活用し整備する。施設整備は、原則、全小学校区に子どもルームを設置することを目標とし、併せて狭隘、老朽化施設の改善も図る。運営については、指導員の適正配置、指導体制の充実を図るとともに、処遇の改善を行う。	拡充	1か所（真砂第4小）を新規開設、1か所を増設したほか、施設改善を2か所実施した。開設ルーム数　105→106小学校区、112→114か所	○	子ども家庭福祉課
22	保育所所庭の休日開放	休日に保育所の所庭等を開放し、利用できるようにする。	新規	平日の開放をすでに実施しており、また、新たに休日に実施することによる利用ニーズや開放時の管理体制等運営上の問題から実施を見送り、方針等を見直す方向で検討することとした。	×	保育課
23	青少年育成委員会活動事業	市内56中学校区青少年育成委員会から受けた申請を精査し、活動の費用を補助する。	拡充	市内56中学校区に設置されている青少年育成委員会へ活動費を補助した。	○	青少年課

プランNO.	事業名	事業内容	今後の方向性	20年度実績 執行状況	20年度実績 進捗状況	所管課
24	青少年相談員活動事業	青少年相談委員が行う各事業を支援するため、費用を補助する。	維持	市内56中学区の青少年相談員で構成される青少年相談員連絡協議会へ活動費を補助した。	○	青少年課
25	ウィークエンドふれあい広場事業	完全学校週五日制に対応した事業として、青少年相談員が中心となって、地域の子どもたちを対象に、凧づくりや折り紙などの文化的制作・体験活動を行う。（平成20年度　事業廃止）	拡充	19年度末事業終了	終	青少年課
26	公民館完全学校週五日制対応事業（講座等）	完全学校週五日制の導入を契機とし、新たに学校休業日となった土曜日を中心に、児童生徒、一部その保護者とともに参加できる「体験型」の学習の場を提供する。それぞれの講座について、子どもたちのニーズにより対応したものになるよう、その充実を図る。	維持	子どもチャレンジ教室など184事業を実施した。延受講者数6,442人。	○	生涯学習振興課
27	体育指導委員事業	小学校地区ごとに体育指導委員を委嘱し、子ども、高齢者を含む地域住民を対象としたレクリエーション・スポーツ活動の企画・運営・指導を行う。	維持	120小学校地区で体育行事（地区体育祭、地区スポーツ教室等）を実施した。	○	社会体育課
28	スポーツ施設管理事業（スポーツ広場等）	子ども、高齢者を含む地域住民が、気軽にスポーツ等に親しむ環境づくりを目指し、スポーツ広場・運動広場の管理運営を行う。	維持	スポーツ広場（2か所）、運動広場（21か所）でスポーツ活動を行った。	○	社会体育課
29	学校体育施設開放事業	スポーツの場の不足を解消するため、学校体育施設を開放し、市民の体力づくり及びコミュニティ活動の振興を図り、市民が手軽に多様なスポーツ・レクリエーションを行える場をつくる。	拡充	小学校120校の校庭・体育館の開放、中学校56校の校庭・体育館の開放、中学校武道場11施設の開放、中学校校庭夜間開放6施設の開放を行った。	○	社会体育課
30	公民館整備	子ども対象の講座や市民のための各種講座を行うとともに、地域の拠点としての学習活動の場を提供する。	拡充	20年度は整備なし	×	生涯学習振興課
31	図書館整備	図書館資料の提供及び地域の拠点として学習活動の場を提供する。	拡充	事業予定なし	×	中央図書館管理課
32	学校・家庭・地域連携まちづくり推進事業	学校・家庭・地域の三者が連携して、各地域の特色ある地域活動を推進することによって、子どもの地域に対する愛着をはぐくむ。	拡充	全56中学校区で活動を実施した。	○	指導課

プランNO.	事業名	事業内容	今後の方向性	20年度実績 執行状況	20年度実績 進捗状況	所管課
33	保育所(園)地域活動事業	保育所の専門機能を活用し、世代間交流、異年齢交流、育児講座等を実施する。今後、実施保育所数の増等事業の拡充を図る。	拡充	地域住民を対象に育児講座や異年齢交流等を行った。平成20年度に5,041回の地域活動を実施。	○	保育課
34	子育てフォーラム(仮称)の設置	地域における子育て支援の地域ネットワークの構築などを視野に入れ、地域に活動しているさまざまな団体、個人が、子育て支援の情報交換の場として集う。	新規	モデル的にミニフォーラムを実施した。(稲毛区4回、緑区1回、美浜区9回)	○	子ども家庭福祉課
35	地域保健推進員活動	地域保健推進員(市長委嘱のボランティア)が2か月児を訪問する。	維持	2か月児の家庭を、地域保健推進員174人で訪問し、母子保健サービスの紹介等を実施した。	○	子育て支援課
36	子どもや子育てに関する市職員の地域貢献活動	子ども・子育てに関する活動等の地域貢献活動に関するデータベースを作成し、庁内ネットワークを活用して、市職員に情報を提供して、活動への参加を促進する。	新規	実施にあたっての調査、研究を行った。	－	職員課
				調査、研究を実施した。	－	子ども家庭福祉課
				事業予定なし	×	生涯学習振興課
37	ファミリー・サポート・センター事業	子どもを預かってほしい会員に対して、育児を応援をしたい会員を紹介し、会員相互の援助活動を支援する。今後、事業内容の拡充を図る。	拡充	子育て支援館でちばしファミリー・サポート・センターを運営した。	○	子育て支援課

基本目標3　仕事と家庭の両立支援

【進捗状況欄】○・・・概ね実施した　－・・・今後実施予定　×・・・当該年度事業予定なし　終・・・事業終了

プランNO.	事業名	事業内容	今後の方向性	20年度実績 執行状況	20年度実績 進捗状況	所管課
38	保育所の整備等	①保育所の新設 待機児童が多く見込まれる大規模開発地区等に保育所を新設する。 ②保育所の増改築 老朽化等による市立保育所・民間保育園の改築時に定員を増やす。 ③保育所の定員変更（定員増） 待機児童が発生し、又は発生が見込まれる保育所の定員を増やす。 ④保育所定員の弾力化 定員の弾力化（施設・設備等の基準を満たす範囲内で、定員を超えて保育を行う。）を継続して実施する。 ※公立保育所のあり方　保育所の整備を計画的に推進し、効率的な運営を図るため、民営化を含め、公立保育所のあり方を検討する	拡充	かまとり保育園（緑区）の開園（90人）、増改築（30人）定員変更（30人）による150人の定員増のほか、弾力化による受入れ児童の拡大を図った。また、平成21年4月開園の小規模保育所（6か所、定員数224人）の整備等を行った。	○	保育課
39	休日保育事業	日曜・祝日及び年末の保育需要に対応するため、休日の保育を認可保育所において実施する。	拡充	例年と同様民間保育園3か所で実施。	○	保育課
40	一時・特定保育事業	保護者の断続的・短時間就労等や疾病、冠婚葬祭等、または育児疲れ等の保育需要に対応するため、認可保育所において一時的に保育サービスを実施する。 【一時保育】 主に緊急・一時的利用（原則1か月当たり7日限度） 【特定保育】 パート就労等で継続的に利用（週2日または週3日）	拡充	慈光保育園（中央区）の増加により公立4か所、民間15か所の19か所で実施	○	保育課
41	延長保育事業	保護者の勤務条件や家庭の事情などにより、通常の保育時間（午前7時から午後6時まで）を超えて保育を必要とする児童について、午後8時（一部の保育所は午後7時）まで保育を行う。現在午後7時まで実施している保育所については、午後8時までの時間延長を検討する。	拡充	かまとり保育園の開園により2時間延長施設が1か所増。（91か所）	○	保育課
42	産休明け保育事業	産休明けにより保育に欠けることとなる乳児について、指定する市立保育所・民間保育園において通常の保育時間の範囲内で保育を行う。	拡充	かまとり保育園（緑区）の開園により、1か所増え、市立57か所、私立33か所で実施した	○	保育課
43	障害児保育事業	障害を有する就学前児童で、保護者の就労等の事由により保育に欠ける者について、指定する市立保育所・民間保育園において健常児との集団保育を行う。	拡充	かまとり保育園（緑区）の開園により、1か所増え、市立60か所、私立33か所で実施した	○	保育課

プランNO.	事業名	事業内容	今後の方向性	20年度実績		所管課
				執行状況	進捗状況	
44	夜間保育事業	夜間（おおよそ午後10時まで）、保育に欠ける就学前児童の保育を行う。実施については、延長保育の利用状況等を調査する。	新規	20時までの延長保育の利用率を調査し、実施の検討を行った。	－	保育課
45	保育所職員研修事業	保育の質の向上を図るため、専門的かつ高度な知識や技術を習得するための職種別研修を行う。	拡充	派遣研修51回、部門研修43回実施	○	保育課
46	保育所の第三者評価事業	保育の質の向上を図るため、第三者評価実施機関により保育内容を客観的に評価する。事業内容については、福祉サービス全般の第三者評価事業についての国・県の推進体制整備状況を踏まえる。	新規	実施に向けての検討を行った。	－	保育課
47	保育ママ事業	保育所に代わり有資格の「保育ママ」が自宅で少人数の保育を実施する。今後、保育ママの増を図る。	拡充	保育ママ登録数22名、受託児童数16名、連携保育所13か所で実施	○	保育課
48	病児・病後児保育事業	病気回復期にあるため保育所等に預けることができず、保護者が就労等により、家庭での育児が困難な児童を、診療所に併設した施設で保育を行う。	拡充	市内7か所の医療機関に委託し、実施した。	○	子育て支援課
49	保育ルーム助成事業	認可外保育施設のうち助成基準を満たし保育ルームと認定した施設に、保育に欠ける児童が入所した場合に、その保育料の軽減と保育の向上のため、入所児童数に応じて助成する。	拡充	助成施設数・児童数を拡大した。助成施設56施設。対象児童：3歳未満児、3歳以上児	○	保育課
50	企業内保育所助成事業	企業内保育所に対する助成の充実を図る。	拡充	該当施設無	○	保育課
51	私立幼稚園預り保育助成事業	幼稚園において延長保育を希望する人に対して、2時間程度の預かり保育を行う場合、保育にかかわる教材費の一部補助を行う。	拡充	私立幼稚園　79園に補助を実施した。	○	学事課
52	私立幼稚園の障害児保育助成事業	障害を持つ園児を受け入れている園に対して経費の一部補助について検討する。	新規	他政令市、県内市、千葉県における同制度を調査した。	－	学事課

プランNO.	事業名	事業内容	今後の方向性	20年度実績 執行状況	20年度実績 進捗状況	所管課
53	総合施設の検討	国において検討が進められている就学前の教育と保育を一体として捉えた総合施設の導入について検討する。 ※総合施設　就学前の教育・保育を一体として捉え一貫して提供する施設。	新規	関係機関と連携し、子育てに関する情報収集に努めた。	○	学事課
				認定こども園に関する本市の統一的な窓口としての事務を行った。	○	保育課
54	子育て支援連絡協議会（仮称）の設置	次世代育成支援を総合的・効果的に推進するための推進母体として、子育て支援連絡協議会（仮称）を設置する。民間企業、保育、教育、医療関係者などを構成メンバーとした協議会を設置し、市民等への各種情報の提供、各種イベント、シンポジウム等を通じて、次世代育成支援のための幅広い普及啓発活動を進める中で、市民の理解の醸成を図る。また、事業主における次世代育成支援などの取組みの普及・促進を図る。	新規	早期設置を目指し、内部検討を行った。	○	子ども家庭福祉課
55	子育てにやさしい働き方を目指す企業に対する入札優遇制度	労働者の職業生活と家庭生活との両立が図られるようにするには、企業の自主的な取組みが不可欠である。その環境整備に積極的な企業に対して、市の入札制度の中で、契約上の優遇について検討する。	新規	21年度実施に向けて検討を行った。	×	契約課
				―	－	男女共同参画課
				事例調査を実施した。	－	子ども家庭福祉課
56	男女共同参画優良事業者表彰	仕事と子育ての両立支援、性別に関わらず登用するなど、男女が共に働きやすい職場環境づくりをしている企業を表彰する。	維持	男女共同参画推進優良事業者1者を表彰した。	○	男女共同参画課
57	預けてゆっくりIT講習	託児つきのIT講習を実施し、子育て中の母親への学習機会を提供する。今後、受講生のニーズにより合わせた託児方法や、講座内容の充実を図る。	維持	国の委託事業によるIT講習が終了。（18年度）	終	生涯学習振興課
58	企業の社内研修等の場を活用した出前講座	結婚前の方や子育て中の方に、企業の社員研修等の場を活用して、「家庭教育講座」などの出前講座を実施するとともに、その場を活用して市の子育て支援に係る情報の提供を行う。	新規	出前講座等を通じ、各種子育て支援施策の情報を提供するとともに、子育て支援に対する意識の醸成を図った。	○	子ども家庭福祉課
59	父親の育児休業取得の推進	子育て支援連絡協議会等の場を活用して、事業主等に対して父親の育児休業取得促進や子育て期間中の勤務時間短縮などについての普及・啓発を行う。	新規	出前講座等を通じ、各種子育て支援施策の情報を提供するとともに、子育て支援に対する意識の醸成を図った。	○	子ども家庭福祉課

プランNO.	事業名	事業内容	今後の方向性	20年度実績 執行状況	進捗状況	所管課
60	職場と家庭生活等との両立を支援する多様な制度の普及促進	育児休業や介護休業、子育て期の勤務時間短縮等措置など、家庭生活等との両立を支援する制度について情報誌等で情報提供を行う。	維持	情報誌「ハーモニーちば」を発行した（年2回、各26,000部）。	○	男女共同参画課
				「勤労市民ニュース」を年2回、各2,500部、市内の中小民間事業所における労働実態を調査し概要書を2,000部発行した。	○	勤労市民課
61	子育て支援関係事業における父親の育児参加奨励	地域子育て支援センター等において、父親の育児参加を促進する講座やイベントなどを実施する。	拡充	市内すべての地域子育て支援センター（7か所）及び子育て支援館で企画し、月1回程度実施した。	○	子育て支援課
62	男女共同参画推進啓発事業	ゆたかな男女共同参画社会を目指して講演会、情報誌発行などの啓発を行う。	維持	ハーモニー講演会、職員対象講演会（各1回）を開催したほか、デートDV防止啓発用パンフレット（11,000部）を作成し、DV防止啓発用パンフ（8,000部）を作成した。	○	男女共同参画課
63	女性センター運営委託（調査研究事業・情報収集提供事業・研修学習事業・交流啓発事業・相談事業）	・専門のカウンセラーが「女性のための生き方相談」を電話又は面接で行う ・男女共同参画を進めるための調査・研究 ・男女共同参画に関連した様々な情報の収集と情報提供 ・男女共同参画の認識と理解を深めるための各種・講座・イベントの実施 ・団体などの交流・ネットワークなどの事業の実施	維持	調査研究2事業、研修学習事業59講座、女性センターまつり、女性フォーラムなどの実施した。	○	男女共同参画課
64	男女共同参画週間	男女共同参画社会の推進に向けての啓発、ポスターPRなどを12月に実施する。また、男女共同参画推進優良事業者表彰を行う。	維持	ポスター350部、啓発標語を印刷したクリアフォルダ2,400部を作成した。	○	男女共同参画課
65	男女共同参画社会の形成に影響を及ぼす苦情及び相談受付	男女共同参画施策についてのご意見・性に基づく人権侵害に対する被害者救済などについての相談を行う。	維持	苦情及び相談を受け付けた。	○	男女共同参画課
66	就職サポート事業	就職者に職業適性や面接の対処方法、履歴書や職務経歴書の書き方指導などの個別指導を行う。	維持	若者の就職対策として、セミナーを4回開催、カウンセリングを57回実施し、企業の求人情報を提供した。	○	勤労市民課

基本目標4　子どもと母親の健康づくり

【進捗状況欄】○・・・概ね実施した　－・・・今後実施予定　×・・・当該年度事業予定なし　終・・・事業終了

プランNO.	事業名	事業内容	今後の方向性	20年度実績 執行状況	20年度実績 進捗状況	所管課
67	エンゼルヘルパー派遣事業	妊娠中、出産後4か月以内で昼間、介護者がいない核家族世帯等に、委託業者からヘルパーを派遣し家事及び育児に関するサービスを提供する。	維持	申請者にヘルパーを派遣し、家事及び育児を支援した。	○	子育て支援課
68	母乳哺育の推進	母乳哺育に関する啓発活動を推進する。新生児訪問を充実するなど、機会を捉えて母乳哺育の浸透を図る。また、母乳についての相談を実施するとともに、母乳哺育への支援・ケアを行う。	拡充	母親学級や新生児訪問において、母乳保育についての指導等を実施した。	○	子育て支援課
69	健康診査等①(妊婦健康診査(B型肝炎検査・母子栄養強化・妊娠中毒症療養援護費含む)	妊娠期の健康管理を行うため、医療機関に委託し妊娠中に2回の健康診査を実施する。今後、受診率の向上を目指す。	拡充	妊婦一般健康診査を1人5回、医療機関委託で実施した。	○	子育て支援課
70	健康診査等②(乳児、4か月児、1歳6か月児、3歳児健診等・子ども向け)	保健所・保健センター、指定・協力医療機関等において、各種健康診査を実施するとともに、保護者に対して各種相談・助言等を実施する。今後、受診率の向上を目指す。	拡充	乳児、4か月児、1歳6か月児及び3歳児の健康診査を、健診会場または医療機関委託で実施した。	○	子育て支援課
71	おかあさんとおなかの中でコンサート	出産を控えた女性が穏やかな気持ちで出産を迎えるためのイベントを開催する。	維持	出産を控えた女性対象のクラシックコンサートを12月に開催した。	○	子育て支援課
72	育児サークルの支援	育児のための知識の普及と子育てのできる仲間づくりを目的とする育児サークルを支援。今後、事業内容の拡充を図る。	拡充	サークル支援のため保育士派遣、リーダー研修を実施した。	○	子育て支援課
73	母親＆父親学級	初妊婦及びその夫に対し保健師・栄養士・歯科衛生士・助産師が、保健、お産の準備、保育、父親の役割などをわかりやすく指導する。今後、事業の充実を図る。	拡充	各保健福祉センター・保健センターで、母親学級、父親学級を開催した。	○	子育て支援課
74	育児教室	集団の親子遊びを通して母親の育児不安を軽減し、積極的に育児に取り組めるようにする。	維持	各保健福祉センター・保健センターで開催した。	○	子育て支援課

プランNO.	事業名	事業内容	今後の方向性	20年度実績 執行状況	20年度実績 進捗状況	所管課
75	出産・育児の電話相談	保健センターに育児相談専用の直通電話を開設。出産する病院の情報、新生児の育児の相談を保健師が中心に実施する。(内容により助産師、管理栄養士、歯科衛生士に引き継ぐ。)	新規	保健センターで実施している相談業務と調整を中。	－	子育て支援課
76	妊産婦・新生児訪問指導	助産師、保健師が家庭を訪問し、相談指導を実施する。今後、内容の充実を図る。	拡充	乳児期早期、特に新生児期の把握のため、妊産婦訪問指導、新生児訪問指導を実施した。	○	子育て支援課
77	乳幼児歯科相談	乳幼児を対象に歯科衛生士が、個別に歯科相談を実施する。今後、会場数を増やすなど充実を図る。	拡充	保健福祉センター等を会場に、155回実施した。	○	健康企画課
78	小児肥満予防相談	3歳児健診にて肥満度15%以上の子どもを対象に栄養相談等を実施する。	維持	3歳児健康診査で肥満度15%以上の児童と保護者に対して、生活習慣、食習慣改善の相談を実施した。	○	子育て支援課
79	育児相談	乳幼児が心身共に健やかに発育をすることを目的に保健師・管理栄養士・歯科衛生士が相談を実施する。	維持	育児相談、2歳児相談を実施した。	○	子育て支援課
80	育児講座・母子講演会	母親学級受講者や乳児を持つ母親を対象に育児や疾病について医師が講演を行う。	維持	各保健福祉センター・保健センターで、年間計画等に基づき実施した。	○	子育て支援課
81	離乳食教室	咀しゃく力を獲得するための発達に応じた調理形態及び食品の選択等について管理栄養士が支援する。	拡充	保健福祉センター等を会場に51回実施した。	○	健康企画課
82	パパママ子育て教習所	子どものこころの発達や接し方などについて、心理士が講演を行う。	維持	各保健福祉センター・保健センターで、18回(各区3回)開催した。	○	子育て支援課
83	2歳児虫歯予防教室	1歳6カ月児健診以降に急増する虫歯の予防を図るため、虫歯予防教室を実施する。今後、受講枠を増やすなど充実を図る。	拡充	保健福祉センターを会場に215回実施した。	○	健康企画課

プランNO.	事業名	事業内容	今後の方向性	20年度実績 執行状況	20年度実績 進捗状況	所管課
84	小児ぜん息教室	疾病の理解、健康保持・増進を目的とした講演会とぜん息教室を実施する。	維持	保健所で、小児ぜん息教室を1回、保護者交流会を12回(毎月1回)開催した。	○	子育て支援課
85	不妊専門相談センター・特定不妊治療費助成	不妊に関する複雑な悩みに対し、専門的・医学的な相談・支援を行うため、不妊専門相談センターを設置する。また、不妊に悩む夫婦の経済的負担軽減を図るため、治療費の助成を行う。	維持	保健所で、不妊専門相談を12回実施する。また、特定不妊治療を受ける夫婦に対し、体外受精、顕微授精の費用の一部を助成する。(治療1回上限10万円、1年度2回まで、通算5年度まで)	○	子育て支援課
86	健康教育推進事業	性教育、薬物乱用防止教育等、心身の健康に重点をおいた健康教育を実施し(健康教育研究推進校を指定)、充実を図る。	拡充	研究校を指定し、健康教育の推進を図る。また、その取り組みを広く紹介し、啓発した。(源小・白井中・花見川第一小)	○	保健体育課
87	各種検診検査事業	学校保健法に基づき、結核、心疾患、腎疾患、脊柱側わん症を始めとする各種検診検査を実施する。	維持	結核・心疾患・腎疾患・脊柱側弯症等の検査を実施した。	○	保健体育課
88	学校歯科事業	歯科衛生士による口腔衛生指導を実施する。また、市内2中学校区の学校において、歯科医による歯科啓発事業を実施し、内容の拡充を図る。 ・保健図画・ポスター表彰、8020運動普及及び標語の表彰を実施	拡充	市内2中学校区に対し、歯科医による歯科啓発事業や、歯科衛生指導等を実施した。(千城台南中学校区、花見川第一中学校区)	○	保健体育課
89	小学校各種体育大会等事業	児童の体力の向上、体力づくりの日常化を促進するため、陸上、表現、球技の各種体育大会を開催する。	維持	表現運動発表会は学校代表1学級、球技大会はサッカー・バスケットボール各1チームが近隣校をブロックとして市内小学校を会場に実施した。陸上大会は、市内を2ブロックに分け、青葉の森スポーツプラザ陸上競技場で実施した。表現運動発表会:参加65校、参加人数2,032人、陸上大会:参加122校　参加人数4,141人、球技大会:参加121校、参加人数5,308人	○	保健体育課
90	中学校運動部活動指導者派遣事業	運動部における専門的な指導を充実するため、派遣指導者が必要な学校に対し、教育委員会が指導者を派遣(年間)し、内容の拡充を図る。	拡充	市内中学校の運動部活動の振興を図るため、運動部における専門的な指導力を備えた指導員を必要とする学校に対し、民間指導員を派遣し、内容の拡充を図った。派遣人数65人、配置学校数:42校、目数13種目	○	保健体育課
91	中学校体育大会事業	スポーツに親しむ資質や能力を育て、体力の向上や健康増進のため市総合体育大会等を開催する。	維持	7月19日～25日を中心に市総合体育大会を開催した。(16種目) 9/25 駅伝の部、11/ 5 ダンス発表会　参加人数 9,683人。また、保護者の経費負担削減のために、市、県、関東・全国大会の選手派遣費を負担した。	○	保健体育課

プランNO.	事業名	事業内容	今後の方向性	20年度実績 執行状況	20年度実績 進捗状況	所管課
92	学校体育行事等補助事業	児童生徒のスポーツへの関心喚起・意欲醸成のため、本市児童生徒が関わる各種体育大会経費を負担金として助成する。	維持	各種体育大会等を主管する市小中学校体育連盟、千葉県中学校総体の経費を負担金として助成した。	○	保健体育課
93	休日救急診療所管理運営事業	休日救急診療所を設置し、休日及び年末年始の初期診療を実施する。 ねたきり老人及び心身障害者(児)の歯科診療の実施。	維持	休日救急診療所の運営を保健医療事業団(指定管理)で実施する。	○	健康医療課
94	救急医療確保対策事業	救急医療に対する需要等に合わせ、休日、夜間の初期救急医療体制、二次救急医療体制の充実・強化を図る	拡充	休日・夜間の二次救急医療体制の確保等を保健医療事業団に委託し実施する。	○	健康医療課
95	小児慢性特定疾患治療研究事業	小児慢性疾患の治療研究事業を推進するとともに、患者家族の医療費の負担を軽減する。	維持	対象者の認定及び助成を行った。	○	子育て支援課
96	ぜんそく等小児指定疾患医療費助成事業	国の小児慢性特定疾患治療研究事業の対象とならないぜんそく患者等のうち、市の基準に該当する患者の健全な育成を図るとともに、患者家族の医療費の負担を軽減する。	新規	対象者の認定及び助成を行った。	○	子育て支援課
97	未熟児養育医療事業費	出生体重2,000g以下及び生活力が特に薄弱の児童を対象に入院養育が必要と認められた児童について医療費の一部を助成する。	維持	対象者の認定及び助成を行った。	○	子育て支援課
98	育成医療給付事業	身体に障害のある児童等に対し、手術等により障害の除去軽減ができる場合に、医療費の一部を助成する。	維持	対象者の認定及び助成を行った。	○	子育て支援課
99	健康づくり推進事業	地域食生活連絡会の実施	拡充	食育推進のためのネットワークを強化するため、保育所、学校、保健センターの管理栄養士等と食生活改善推進員をメンバーとする地域食生活連絡会を各区で実施し、食育の取り組みについての情報交換や、指導媒体の検討、普及献立の作成等を各区において年1～2回実施した。	○	健康企画課
		学校における食育指導(給食時間・総合的な学習の時間・家庭科、クラブ活動)を行っている。	拡充	年間指導計画に基づき、各学校の実態に合わせて、発達段階に応じた食に関する指導を行った。	○	保健体育課

プランNO.	事業名	事業内容	今後の方向性	20年度実績		所管課
				執行状況	進捗状況	
100	食生活改善推進員による地域活動	からだで感じる食、みんなで楽しい食、料理を楽しむ食など、食を通して心と体を育てる食育の観点から、調理実習などの体験学習を保健センター等で行い、今後、実施回数を増やすなど充実を図る。	拡充	食生活改善推進員が子育てふれ愛フェスタにおいて、市内産農産物を使った「ちなな丼・にんじんゼリー」の調理実習を行った。また、各区の保健福祉センターや公民館等で親子料理教室などの地域活動を実施した。	○	健康企画課
101	地域子育て支援センター、保育所地域活動における食育に関する講座等	地域子育て支援センター等の育児講座の中で、食育に関する講座等を実施する。	拡充	地域子育て支援センター事業、保育所(園)地域活動事業の一環として実施した。	○	子育て支援課
			拡充	地域子育て支援センター、保育所(園)地域活動事業で食育講座を実施した。	○	保育課
102	保育所における食育の推進	野菜の栽培・収穫体験や調理にかかわる体験などを通して食育の推進を図る。体験回数を増やすほか、地域の特性を生かした保育所の食育を研究し推進する。	拡充	野菜の栽培・収穫・調理体験活動、離乳食パンフレットの作成及び職員研修・食育ホームページの充実をおこなった。	○	保育課

基本目標5　次代を担う人間をはぐくむ教育の充実

【進捗状況欄】○・・・概ね実施した　－・・・今後実施予定　×・・・当該年度事業予定なし　終・・・事業終了

プランNO.	事業名	事業内容	今後の方向性	20年度実績 執行状況	20年度実績 進捗状況	所管課
103	子育ての手引き配布（家庭教育資料作成事業）	小・中学校入学時の保護者及び小学校5年生の保護者に、子育て支援の一環として子育ての手引を配布する。	維持	「家庭教育応援します　～親ナビ＠低学年.ちばし～」11,000部、「家庭教育応援します　～親ナビ＠高学年.ちばし～」10,000部、「家庭教育応援します　～親ナビ＠中学生.ちばし～」9,000部、を3月末に配布した。	－	青少年課
104	家庭教育支援総合推進事業 (1)幼稚園子育て講座 (2)父親の家庭教育を考える集い	(1)子育て支援を目指し、幼稚園入園時等の保護者を対象に、子どものしつけなどの家庭教育のあり方を見つめ直してもらうための講座を実施する。今後も全幼稚園を対象に取り組む。 (2)小・中学校の父親の会に対し、子育て講座の開催や、情報交換会など、家庭教育のあり方を見つめ直す支援を行う。今後は、指定校の拡充を図るとともに、市レベルでの情報交換会を検討する。	維持	平成19年度で完了（国の委託事業）	終	生涯学習振興課
105	教育広報紙「教育だよりちば」の発行	年5回、児童生徒の家庭へ配布、公共施設での配布により、本市の教育施策等に関する情報を提供する。	維持	4月に115,000部、7月、10月、1月に各87,000部を発行した。他に臨時号を2号発行した。	○	教育委員会企画課
106	家庭教育手帳の発行事業	「ドキドキ子育て」（乳幼児用）、「ワクワク子育て」（低学年～中学用）を配布し、子育て支援を図り、家庭の教育力の向上に資する。今後も継続して実施する。	維持	平成20年度よりホームページよりダウンロードするため当該事業については、平成19年度で完了	終	生涯学習振興課
107	公民館「家庭教育」啓発事業	家庭の教育力の向上を図るため、学習講座を開催するとともに、内容の充実を図る。	維持	家庭教育学級など83事業実施した。延受講者数6,135人。	○	生涯学習振興課
108	子育て学習講座	小学校就学時の保護者に対して、子どものしつけなど家庭教育のあり方を見つめ直してもらうため、子育てに関する講座を実施する。中学校入学の子どもを持つ親に対しては、思春期の子どもの問題行動等をテーマとした、子育て等に関する講座を実施する。今後とも、両講座の内容の充実等を図る。	維持	平成19年度で完了（国の委託事業）	終	生涯学習振興課
109	子育て支援イベント事業(子育てふれ愛フェスタ)	少子化問題及び子育て支援の必要性について広報・啓発を行うため、多様な世代が参加できるステージイベント等を実施する。	維持	主に乳幼児とその保護者を対象として事業を実施し、各種子育て支援施策の周知及び子育て支援の市民意識の醸成を図った。	○	子ども家庭福祉課

プランNO.	事業名	事業内容	今後の方向性	20年度実績 執行状況	20年度実績 進捗状況	所管課
110	ファミリーブックタイム運動の推進	家族で読書を楽しむ時間をつくるよう呼びかけるなど情報提供、啓発を行う。	維持	平成21年3月に、啓発用パンフレット(4か月児向け;10，000部、新入学児童向け;12，000部)を発行した。	○	中央図書館管理課
111	思春期保健対策事業(ふれあい体験学習・中学生向け)	生命の尊厳について学び、父性母性の涵養を図ることを目的とし赤ちゃんとふれあう体験学習を実施する。	維持	中学生を対象に、3コース、6回開催した。	○	子育て支援課
112	思春期教室	思春期の子ども及びその保護者等に対して思春期の心とからだの発達と特徴、その対応について知識の普及・相談を実施し、今後、内容の充実を図る。	拡充	各保健福祉センター・保健センターで、思春期の子を持つ親に対し講演会を14回開催した。	○	子育て支援課
113	ブックスタートの検討	絵本を通じて親子のふれあいやきずなを深める「ブックスタート」を検討する。	新規	保健福祉センターの4か月健康診査会場において、読み聞かせボランティアの協力を得て、モデル的に、絵本の読み聞かせを実施した。	○	子育て支援課
114	学校評議員制度	地域ぐるみの教育の成果を生かすとともに、学校・家庭・地域の三者連携を生かした開かれた学校づくりを推進する。	維持	市内全小・中・特別支援高等学校で実施し、地域や家庭の意見をもらいながら、校長が学校運営に生かしている。	○	学事課
115	学校二学期制の推進	学校二学期制の実施により、家庭・地域との連携、教育課程の工夫・改善、きめ細かな指導など、「ゆとり」の中で特色ある学校づくりを推進する。	拡充	2学期制を継続実施し5年目となり、児童生徒・保護者、地域に定着してきた。	○	学事課
				平成16年度より2学期制に移行済みのため本事業終了	終	指導課
116	少人数指導教員配置事業	生活指導や基礎・基本的な学習内容の確実な定着を図るなど、教科の特性に応じたきめ細かな指導を行うための少人数指導(非常勤講師配置)	維持	小学校42校に47人配置した	○	教職員課
117	ボランティア教育推進事業	実施校にボランティア教育推進委員会を設置し、活動を推進する中で、ボランティア精神の基礎を養う。	維持	市内7中学校をボランティ教育推進校に指定。養護施設訪問、交流。公園や公共設備等の清掃・美化活動を行い、実践資料集にその様子をまとめ、市内の小・中・特別支援学校に配布した。	○	指導課
118	夢広がる学校づくり推進事業(楽しい教室づくり)	優れた知識・技能を有する社会人を学校教育に活用することにより、多様な教育活動を展開し、児童生徒の社会性や学ぶ意欲の向上を図る。	維持	小中学校合わせて74校の募集に対して、67校実施し91%の実施率であった。	○	指導課

プランNO.	事業名	事業内容	今後の方向性	20年度実績 執行状況	20年度実績 進捗状況	所管課
119	特色ある学校づくりの推進	各学校の自主性・自律性の確立のため、学校の裁量で執行可能な予算措置の拡大を図ることにより、地域の実情に応じた総合的な学習や体験的な学習など、各学校の創意工夫を生かした特色ある教育活動の積極的な支援を行う。	拡充	各学校において、教育課程等を工夫し、特色ある学校づくりを行った。各学校の特色ある学校づくりのため、小学校299,613千円、中学校149,710千円、特別支援学校5,204千円の支援を実施した。	○	学校財務課
				優れた知識・技能を有する社会人を学校教育に活用することにより、多様な教育活動を展開し、児童生徒の社会性や学ぶ意欲の向上を図った。	○	指導課
120	小学校英語活動推進事業	英語を母語とする外国人を、教員の補助者として配置し、市内全小学校5・6年生を対象に、英語活動を行う。今後は、対象学年の拡充を目指す。	拡充	英語を母語とする外国人講師を、教員の補助者とし、市内全小学校5・6年生全学級に年間30時間配置し、英語活動を実施した。	○	指導課
121	外国人児童生徒指導協力員派遣事業	日本語指導の必要な外国人児童・生徒の在籍校に指導協力員を派遣し、個別指導やグループ指導を実施する。	維持	日本語指導の必要な外国人児童・生徒の在籍校に、11名の外国人児童生徒指導協力員を派遣し、個別指導やグループ指導を実施した。	○	指導課
122	市立千葉高等学校海外・国内科学技術研修事業	理数科の特色を生かした授業の一環として、自然の事物・現象に対する関心を高め、科学的に探求する態度、能力及び豊かな国際性を養うことを目的に、1年次は国内(伊豆大島)、2年次は海外(アメリカ合衆国)において科学技術研修を実施する。	維持	1年生は国内(伊豆大島)で2泊3日、2年生はアメリカ合衆国ヨセミテ国立公園他で8泊10日の日程で実施した。	○	千葉高等学校
123	音楽関係中央大会派遣事業	関東大会、東日本大会、全国大会等の関東大会以上の大会出場に係わる、児童生徒の交通費、宿泊費、楽器運送費、練習会場費、参加費等を補助する。	維持	関東大会1校、東日本大会2校、全国大会3校が出場した際の大会出場に係わる、児童生徒の交通費、宿泊費、楽器運送費、練習会場費、参加費等を補助した。	○	指導課
124	学校訪問おはなし会	地区図書館では、小学校等を訪問し、在籍の児童を対象にブックトークを行うなど、子どもたちが本に親しむためのきっかけづくりの場を提供する。	維持	各地区図書館で学校訪問おはなし会等を実施した。14施設2,484人	○	中央図書館 情報資料課
125	特別非常勤講師配置事業	各分野で優れた知識や技術を有する社会人を、小・中学校に派遣し、児童生徒の個性を生かす多様な教育の一層の充実を図る。	拡充	小学校8校、中学校2校に9名の特別非常勤講師を派遣した。	○	指導課
126	外国青年招致事業	中学校、高等学校に外国語指導助手(ALT:日本人英語教師との協同授業を業務とする)を配置する。今後は、ALTの増員を目指し、中学校、高等学校への派遣日数の増加を図る。	拡充	中学校・高等学校に19名の外国語指導助手等を配置し、日本人教師との協同授業を実施した。	○	指導課

プランNO.	事業名	事業内容	今後の方向性	20年度実績 執行状況	20年度実績 進捗状況	所管課
127	学校図書館充実推進事業	全小中学校に学校図書館指導員120名を配置している。小学校へ64名（1校1名週4日勤務が8校、残り112校は1名が週2日ずつ2校を勤務）、中学校へ56名（1校1名週4日勤務）となっている。学校図書館指導員は、図書の整理・環境整備、児童生徒の読書相談対応、読み聞かせ活動等の業務を行う。また、読書センター的機能に加え、学習・情報センター機能を学校図書館に付加するため、児童生徒個々の課題に応じた図書の充実に努める。今後は、学校図書館指導員の資質向上を図るとともに、小・中学校における指導内容や方法の一層の充実を目指す。	拡充	全小中学校に120名の学校図書館指導員が配置され、読書活動の充実推進が図られた。結果として、小学生の月平均読書冊数は20.1冊、中学生の月平均読書冊数は8.3冊と全国の平均の約2倍の数字を記録した。	○	指導課
128	姉妹友好都市交流事業	海外の同等校と姉妹校、交流校の提携を結んで相手校の児童生徒の作品、手紙の交換等を行う。	維持	海外の同等校と姉妹校、交流校の提携を結んで相手校の児童生徒のホームステイや、作品、手紙の交換等を行う費用を補助した。	○	指導課
129	外国人児童生徒指導教室運営事業	専任教員を配置し、外国人児童の日本語の習得や、学校生活への適応を図る。	維持	専任教員を配置し、外国人児童の日本語の習得や、学校生活への適応を図った。配置校小学校2校。対象児童51名。	○	指導課
130	高等学校校舎等改築事業（市立千葉高等学校）	老朽化した高等学校の建て替えを実施し、平成21年4月の供用開始を目指す。	拡充	外構工事、植栽工事などを実施した。	○	学校施設課
131	小学校新設校建設事業	宅地開発に伴う児童数の増加による学校の過大規模化の解消を図るため、新設校を建設する。	拡充	当該年度事業予定なし	×	学校施設課
132	小学校施設老朽化対策事業（中学校施設老朽化対策事業）	学校施設が安全かつ正常に機能するよう、施設の老朽化した建物や設備を計画的に改修する。内部・外部の大規模改造工事、プール付属屋の改築工事、各種修繕工事、高圧ケーブル改修工事、給水施設改修工事等を行う。	拡充	外部改造工事（小1校）、各種修繕工事などを実施した。	○	学校施設課
133	小学校施設機能向上事業（中学校施設機能向上事業）	学校間の教室環境格差をなくすため、小・中学校の余裕教室を利用してコンピュータ室、特殊学級教室、通級指導教室、保健室、読書多目的室、心の教室に改修する。	拡充	特別支援学級教室改修（小1校）、適応指導教室改修（小1校）を実施した。	○	学校施設課
134	小学校屋内運動場改築事業（中学校屋内運動場改築事業）	屋内運動場の安全性を確保するため、老朽化した屋内運動場の改築工事を実施する。	拡充	当該年度事業予定なし	×	学校施設課

プランNO.	事業名	事業内容	今後の方向性	20年度実績 執行状況	20年度実績 進捗状況	所管課
135	私立高等学校等教育設備整備事業	私立高等学校、専修・各種学校の教育設備備品の購入費の一部について補助することにより、私立高等学校、専修・各種学校の教育条件の維持向上及び保護者の経済的負担を軽減する。	維持	私立高校8法人　専修・各種学校8法人に補助を実施した。	○	学事課
136	小学校特殊学級運営事業(特別支援学級)	小学校特殊学級(特別支援学級)に在籍する児童が使用する備品等の購入を進め、障害のある児童の学校生活の充実を図る。	維持	小学校特殊学級(特別支援学級)に在籍する児童が使用する備品等の購入を進め、障害のある児童の学校生活の充実を図った。	○	指導課
137	中学校特殊学級運営事業(特別支援学級)	中学校特殊学級(特別支援学級)に在籍する生徒が使用する備品等の購入を進め、障害のある生徒の学校生活の充実を図る。	維持	中学校特殊学級(特別支援学級)に在籍する生徒が使用する備品等の購入を進め、障害のある生徒の学校生活の充実を図った。	○	指導課
138	養護学校野外活動事業(他事業と統合)	県内公立集団宿泊施設を利用し、教育活動の一環(特別活動の学校行事)として、野外活動を実施する。	維持	17年度　他課統合(No.157)	終	保健体育課
139	養護学校特殊(特別支援)教育振興事業	産業現場等の実習に際し、受入事業所での円滑な実習を図る。今後は、受入事業所の拡大を目指すとともに、実習内容の一層の充実を図る。	維持	産業現場等の実習に際し、受入事業所での円滑な実習を図り。今後は、受入事業所の拡大を目指すとともに、実習内容の一層の充実を図った。	○	指導課
140	要保護・準要保護児童生徒給食費等扶助費	給食費及び補助対象となる疾病の治療費を援助し、児童生徒の健康の保持増進を図る。	維持	要保護・準要保護児童生徒の保護者に対し、給食費及び補助対象となる疾病の治療費を扶助した。	○	保健体育課
141	要保護・準要保護児童生徒学用品費等扶助事業	学用品費、修学旅行費、その他就学に必要な経費を援助することにより、児童生徒の学校生活を円滑なものとする。	維持	要保護・準要保護児童生徒の保護者に対し、学用品費、修学旅行費、その他就学に必要な経費を援助した。	○	学事課
142	高等学校育英資金事業	生徒1人あたり月額10,000円(年額12万円)を支給する。(入学説明会時に説明、申込み受付、審査、決定、支給)	維持	生徒40人(内途中認定2人)に支給した。	○	千葉高等学校 稲毛高等学校
143	定時制・通信制教育振興会補助事業	定時制・通信制高等学校の諸会費負担金などについて補助することにより、勤労青年の経済的負担を軽減する。	維持	定時制3校、通信制1校に補助を実施した。	○	学事課

プランNO.	事業名	事業内容	今後の方向性	20年度実績 執行状況	20年度実績 進捗状況	所管課
144	特殊教育児童生徒学校給食費扶助事業	給食費の援助(1／2)を行う。	維持	特別支援教育児童生徒の保護者に対し、給食費の扶助(1/2)を行った。	○	保健体育課
145	特別支援教育児童生徒学用品等扶助事業	学用品費、修学旅行費、その他就学に必要な経費を援助することにより、児童生徒の学校生活を円滑なものとする。	維持	特別支援学級に在級・通級している児童生徒の保護者に対し、学用品費、修学旅行費、その他就学に必要な経費を援助した。	○	学事課
146	教育情報誌発行事業	特別支援教育の今日的課題についての啓発のために「養護教育センターだより」を年2回発行・配布する。 特別支援教育の取り組むの参考となる指導資料を発行・配布する。	維持	養護教育センターだより5,000部を2回。教育相談案内リーフレット35,000部。特別支援教育啓発ガイドブック5,000部を作成し、配布した。	○	養護教育センター
147	適応指導教室管理運営事業	適応指導教室(ライトポート花見川他)での活動を通じて、自宅等で引きこもり状態の解消や不登校児童生徒の学校生活への復帰を支援する。	拡充	在籍者数 88名	○	教育センター
148	教育相談指導教室事業	個別相談指導、小集団活動、通常学級との交流を通して、生活習慣の確立や対人関係の改善を図り、原籍校への復帰を支援する。	維持	事務用消耗品費購入(消耗品費192千円)研究紀要等印刷(印刷製本費91千円)	○	指導課
149	スクールカウンセラー活用事業	いじめや不登校などに対応するため、中学校にスクールカウンセラーを配置し、中学校区の児童生徒、その保護者、教職員からの悩み等の相談にあたる。	拡充	市内中学校57校に、スクールカウンセラーを配置した。また、緊急時の対応等のためにスーパーバイザーを3名配置した。	○	指導課
150	子どもと親の相談員活用事業	小学校に「子どもと親の相談員」を配置し、保護者と連携しながら、不登校や問題行動などの未然防止・早期発見・早期対応に努める。	新規	市内小学校2校に、子どもと親の相談員を配置した。また、市内小学校1校に、生徒指導推進協力員を配置した。	○	指導課
151	教育相談長欠対策事業	いじめや不登校の問題について電話相談や家庭訪問等を通し、その解消に向けて学校と連携を図りながら、指導援助に努める。	維持	いじめや不登校の問題について電話相談や家庭訪問等を通し、その解消に向けて学校と連携を図りながら、指導援助に努めた。	○	指導課
				電話相談件数 3,358件	○	教育センター

プランNO.	事業名	事業内容	今後の方向性	20年度実績 執行状況	20年度実績 進捗状況	所管課
152	心の教室（カウンセリングルーム）整備	生徒の悩み・不安の相談やストレスを和らげる環境を提供するため、中学校にカウンセリングルームを整備する。	拡充	当該年度事業予定なし	×	学校施設課
153	教育相談運営事業	指導主事・嘱託職員による来所相談、電話相談、訪問相談及び精神科医による医療相談。グループ活動（不登校児童生徒への適応指導）。 広報活動（学校を通じてリーフレット等を保護者、教職員に配布）。	維持	来所相談件数 487件、リーフレット作成5,000部	○	教育センター
154	特別支援教育体制推進事業	小・中学校におけるLD（学習障害）、ADHD（注意欠陥／多動性障害）、高機能自閉症等を含めた障害のある児童生徒への支援体制を推進するための特別支援教育指導員の配置、学校訪問相談員の派遣を継続する。	拡充	特別支援教育指導員20名体制で前・後期40校に配置するとともに、学校訪問相談員3名を129回学校等に派遣し、特別支援教育推進体制の整備に向けた支援・指導を行った。	○	養護教育センター
155	農山村留学推進事業	県内や長野県の農山村等に宿泊し、自然体験活動を行うとともに地元の小学生や地域住民との交流を図る。地域の特色を生かした農林漁業等の体験活動を取り入れるなど、事業内容の一層の充実を目指す。	拡充	8月22日から26日まで4泊5日で、23校の小学6年生1,051名が、長野県での農山村留学に参加した。また、97校の小学6年生7,322人が、千葉県内の宿泊施設を利用し、農山村留学に参加した。	○	指導課
156	移動教室	千葉市少年自然の家を利用した自然体験等を通して、子どもの自主性や社会性、豊かな心の育成を図る。	維持	市内120校の5年生児童が学校ごとに千葉市少年自然の家において2泊3日の宿泊体験学習を実施した。	○	指導課
157	長柄げんきキャンプ	他校との合同宿泊学習を通して、基本的な生活習慣を身に付け、社会性を高める。	新規	参加人数（小学校45校417名、中学校17校219名、特別支援学校2校77名）合計64校・713名	○	指導課
158	長柄ジョイントキャンプ	豊かな自然環境の中で、様々な体験活動を通しながら自主性・社会性をはぐくみ、学校復帰を促す。	新規	千葉市少年自然の家において2回キャンプを実施した。	○	教育センター
159	長柄ハッピーキャンプ	集団生活を通して社会性を向上させ、通常学級での適応力を高める	維持	少年自然の家2泊3日　参加児童33人で実施した。	○	養護教育センター
160	科学館整備事業	子どもたちの探究心向上と創造力育成のための参加体験型「科学館」の整備を図る。	新規	19年度開設完了	終	指導課
				指定管理委託料及び管理組合負担金。 利用者数　404,735人	○	生涯学習振興課

プランNO.	事業名	事業内容	今後の方向性	20年度実績 執行状況	20年度実績 進捗状況	所管課
161	ふれあいパスポート事業	市内施設を土曜日に無料(一部有料)で利用できるパスポートを配布する。	維持	市内在住在学の児童・生徒にリーフレット(カード含む)を各8,000部配布する。	○	教育委員会企画課
162	芸術文化鑑賞事業	千葉市青少年ミュージカルを実施する。	維持	各年開催のため、事業予定なし	×	文化振興課
		小・中学校音楽鑑賞教室、小・中学生のためのオーケストラコンサートを実施する。	維持	小・中学校音楽鑑賞教室を17公演、小・中学生のためのオーケストラコンサートを5公演実施した。	○	指導課
163	南部児童文化センター事業	各種講座の開催、少年団体育成、活動の場の提供等、子どもたちを中心とした利用者のニーズに適合した事業を推進する。今後とも、各種講座や活動の場等の充実を図る。	維持	子ども卓球教室など14事業を実施した。延受講者数517人。	○	生涯学習振興課
164	少年少女科学クラブ	講師の指導による科学工夫工作の活動を通じ、科学的なものの考え方や豊かな想像力を育成する。「千葉市科学館」の教育普及事業として実施する。	維持	少年少女を対象とした科学工作の講座を通年で実施した。実施回数32回	○	生涯学習振興課
165	アストロクラブ	講師の指導により、天体望遠鏡の製作と天体観測等を行う。「千葉市科学館」の教育事業として実施する。	維持	少年少女を対象とした天文活動の講座を通年で実施した。実施回数13回	○	生涯学習振興課
166	少年自然の家運営事業	子どもたちによる生活体験、自然体験、共同宿泊体験等の教育的体験活動を行う。	維持	PFI事業として、民間事業者による施設の維持管理や主催事業の実施等事業運営を行った。	○	青少年課
167	自然教室推進事業	高原千葉村で3泊4日の体験活動を実施する。	維持	市立中学校全57校の2年生が高原千葉村で豊かな自然をあじわいながら、規律ある集団宿泊生活を通して、たくさんの体験活動を実施する。	○	保健体育課
168	青少年ふれあいセミナー	青年会議所との共催により、フィリピン共和国ケソン市へ子どもたちを派遣、交流を行ったり、また、国内で様々な自然体験活動を行い、子どもたちの健全育成に寄与する。予算面では一部JCに負担金を支出する。	維持	小学5～6年生を対象に、2泊3日の宿泊体験事業を千葉青年会議所への後援で実施した。(参加者小学5～6年生43人、その他関係者40人)	○	青少年課

プランNO.	事業名	事業内容	今後の方向性	20年度実績 執行状況	20年度実績 進捗状況	所管課
169	青少年及び青少年指導者海外派遣事業（事業終了）	青少年及び青少年指導者を海外に派遣し、青少年関連施設を訪問したり、交流を図ることで、国際的視野を広めるとともに青少年の健全育成に役立てる。	維持	17年度末で事業終了	終	青少年課
170	子ども図書館たんけん隊	普段見ることのできない自動出納書庫等の図書館施設の見学を行う。（夏休み中）	維持	中央図書館で子ども図書館たんけん隊を実施した。4回実施　82名応募　69名参加	○	中央図書館 情報資料課
171	定例おはなし会	素話・本の読み聞かせ・手遊び等を行う。	維持	各図書館で定例おはなし会を実施した。 756回実施　10,024名参加	○	中央図書館 情報資料課
172	こども一日図書館員	地区図書館の裁量により、「子ども一日図書館員」として職場体験を行う。	維持	各地区図書館でこども一日図書館員を実施した。 10回実施　133名参加	○	中央図書館 情報資料課
173	かるた会・こども読書会他	地区図書館においては、ニーズ等に応じ、子ども向けの各種事業を展開する。（「子ども読書会」「子ども映画会」「科学で遊ぼう」など）	維持	各地区図書館でかるた会・こども読書会他を実施した。かるた会・3回実施　40名参加　こども読書会他・1,001名参加	○	中央図書館 情報資料課
174	子ども読書の日記念・夏・冬の親子おはなし会	親子を対象に、絵本の読み聞かせや、パネルシアターなどを行う。	維持	各図書館で子ども読書の日記念・夏・冬の親子おはなし会を実施した。63回実施　1,475名参加	○	中央図書館 情報資料課
175	わらべうたと絵本の会	わらべうたと手遊び、絵本の読み聞かせを行う。	新規	中央図書館、美浜図書館でわらべうたと絵本の会を実施した。24回実施　584名参加	○	中央図書館 情報資料課
176	外国語おはなし会	外国人等の親子を対象に、原語で絵本の読み聞かせを行う。	新規	中央図書館で外国語おはなし会を実施した。 1回実施　30名募集　28名参加	○	中央図書館 情報資料課
177	地域おはなしボランティア養成講座	図書館のおはなしボランティアとして活動するために、読み聞かせ等の手法を学ぶ。	維持	中央図書館で地域おはなしボランティア養成講座を実施した。30名募集　55名応募　31名終了	○	中央図書館 情報資料課

プランNO.	事業名	事業内容	今後の方向性	20年度実績 執行状況	進捗状況	所管課
178	親子で楽しむ絵本講座	地区図書館においては、わらべうたや手遊びを通して、絵本との出会いの場を提供する。	維持	各地区図書館で親子で楽しむ絵本講座を実施した。21回実施　269名参加	○	中央図書館 情報資料課
179	子どもが語るおはなし会	中学生や高校生が、絵本の読み聞かせを行う。	新規	中央図書館で子どもが語るおはなし会を実施した。14回実施　277名参加	○	中央図書館 情報資料課
180	子ども読書まつり	年齢別おはなし会、外国語おはなし会、本に関するクイズやパズル等を総合的に実施する。	新規	各図書館で子ども読書まつりを実施した。3,783名参加	○	中央図書館 情報資料課
181	私立幼稚園教材費助成事業補助金	私立幼稚園の教材費の一部を補助することにより、教育条件の維持向上及び保護者負担の軽減を図る。	拡充	園割　408,000円、園児割　1,700円の補助を実施した。	○	学事課
182	幼保小関連教育推進事業	近隣の幼稚園・保育所(園)・小学校間の交流を通して、幼児教育から小学校教育の円滑な接続を図る。	維持	H18終了	終	学事課
				6行政区ごとに推進校を指定し、近隣の幼稚園・保育所との交流活動を実施して、幼児教育と小学校教育の円滑な連携を図った。	○	指導課
183	幼稚園教諭の研修の充実	幼稚園教諭に対する研修を支援する。	維持	幼稚園の研修事業等に対し補助を実施した。	○	学事課
				幼児教育支援センターの事業として、幼稚園教諭・小学校教諭を対象とした公開講座を開催した。	○	指導課
184	幼児教育支援センター事業	教育委員会等内に保育カウンセラー等からなる幼児教育のサポートチームを設置し、地域の関係機関と連携を図り、幼稚園、保護者、家族等を支援することについて検討する。	新規	H18終了	終	学事課
				幼児教育相談を臨床心理士等の有資格者を配置して教育センターを会場として9月から月2回実施したほか、公開講座(幼児教育)を実施した。	○	教育センター

基本目標6　子育て家庭にやさしいまちづくり

【進捗状況欄】○・・・概ね実施した　－・・・今後実施予定　×・・・当該年度事業予定なし　終・・・事業終了

プランNO.	事業名	事業内容	今後の方向性	20年度実績 執行状況	20年度実績 進捗状況	所管課
185	交通安全施設整備	高齢者、障害者、妊産婦をはじめ市民にやさしいまちづくりを進めるため、千葉市交通バリアフリー基本構想で定められた重点整備地区（市内16地区）において、道路特定事業計画に沿って、道路標識・段差解消・道路照明・誘導ブロックなどを整備し平成22年度を目途にバリアフリー化を推進する。	拡充	歩道の改良（段差解消、視覚障害者誘導用ブロック）を実施した。	○	維持管理課
186	鉄道・モノレール駅舎のエレベーター等整備	高齢者、障害者、妊産婦等の鉄軌道利用の安全・円滑化を図るため、駅舎内外の昇降装置の整備、整備費補助を行う。	拡充	・JR新検見川駅（エレベーター3基） ・JR東千葉駅（エレベーター1基） ・京成幕張駅（スロープ1か所） ・モノレールスポーツセンター駅（エレベーター1基） ・モノレール千葉みなと駅（エレベーター2基繰越） の整備を実施した。	○	交通政策課
187	自転車駐車場事業	自転車駐車場の整備及び維持管理を行う。	維持	機械式地下自転車駐車場の整備などを実施する。	○	自転車対策課
188	放置自転車対策事業	駅周辺の放置自転車を撤去し、安全な歩行空間を確保する	維持	自転車等放置禁止区域の指定、放置自転車等の撤去などを実施する。	○	自転車対策課
189	公共施設における子育てバリアフリー化	本庁・各区役所において、乳幼児と一緒に安心して利用できるトイレやベビーベット、授乳室、キッズコーナー等の設置を計画的に行う。	新規	実施予定なし	×	職員課
				本庁、区役所、保健福祉センター等の状況調査を行った。	×	子ども家庭福祉課
190	子どもたちの森公園プレーパーク運営	子どもたちが自然の中で自分の責任でのびのびと自由に遊べる場を運営している。	維持	引き続き週5日プレーパークを開設した。	○	緑政課
191	市民の森保全	土地所有者と契約し、自然と身近に触れ合える憩いの場として開放している。今後市民緑地制度への移行を検討する。	維持	設置箇所：15か所、面積：約34.8ha	○	緑政課

プランNO.	事業名	事業内容	今後の方向性	20年度実績 執行状況	20年度実績 進捗状況	所管課
192	街区公園整備	子どもたちがのびのびと遊べる場を整備する。(誘致距離250m 0.25㌶)	拡充	基本・実施設計:幕張町4丁目公園(仮称)、誉田町2丁目公園(仮称)、大森町公園(仮称) 施設整備:検見川稲毛2号公園(仮称)、浜野駅東口1号公園(仮称) 用地買収:登戸5丁目公園、高津戸町公園	○	公園建設課
193	近隣公園整備	子どもたちがのびのびと遊べる場を整備する。(誘致距離500m 2㌶)	拡充	事業予定なし	×	公園建設課
194	地区公園整備	子どもたちがのびのびと遊べる場を整備する。(誘致距離1km 4㌶)	拡充	事業予定なし	×	公園建設課
195	子育て支援のための団地集会所等の活用	周辺地域の子どもの遊び場や育児サークルなどの活動の場として、市営住宅の団地の集会所等を活用できるよう検討する。	新規	広域集会所を持つ4団地のみ、自治会活動に支障のない範囲で可能。	－	住宅政策課
				広域集会所を持つ4団地のみ、自治会活動に支障のない範囲で可能。	－	住宅整備課
196	公園施設維持管理事業(中央・稲毛・花見川・美浜・緑・若葉) 公園施設維持管理事業	公園に設置している遊具や遊び場について、市民・子どもが安全に快適に利用できるよう巡回を行うなど、その管理に努める。	維持	市内1,127公園の維持管理を行った。	○	公園管理課
197	公園緑地事務所事業(中央・稲毛・花見川・美浜・緑・若葉) 公園施設維持管理事業	誰もが安心して利用できるよう公園内の清掃・除草等を行うなど、その管理に努める。	維持	436か所の公園において、279の清掃協力団体による園内清掃を行った。	○	公園管理課
198	若年世帯(子育て世帯)の居住支援	特定優良賃貸住宅の入居収入基準の下限の緩和を行い入居しやすくする(H14.4.1より)。 一定の要件を備えた子育て世帯の入居者負担額を5年間据え置く(H21.4.1より)。	維持	入居収入基準の下限緩和を継続し、入居しやすくした。	○	住宅政策課
		特定優良賃貸住宅の一部を市営住宅として借上げ、若年世帯の入居を支援する。	維持	3団地の一部を、若年世帯向けに市営住宅として借上げ、若年世帯の入居を支援する。(フローラ稲毛65戸、プラザ園生13戸、メゾン・グリーンリーフ13戸 計91戸)(H19年66戸)	○	住宅整備課
199	子育てに関する情報を含めた住情報の提供	子育て家庭の住まい選びなどに際して必要な子育てに関する情報を、住まいに関する情報と併せて提供することができるよう「すまいアップコーナー」におけるサービスの拡充とホームページの内容の充実を図る。	新規	「すまいアップコーナー」にて、母子家庭優遇申込のできる公営住宅の情報提供や子育て支援に関する企画展示を実施した。	○	住宅政策課

基本目標7　支援が必要な子どもと家庭への対応

【進捗状況欄】○・・・概ね実施した　－・・・今後実施予定　×・・・当該年度事業予定なし　終・・・事業終了

プランNO.	事業名	事業内容	今後の方向性	20年度実績 執行状況	20年度実績 進捗状況	所管課
200	障害児等療育支援事業	障害児(者)施設の有する機能を活用し、地域での生活支援及び療育、相談体制の充実を図るとともに、各種福祉サービスの提供、援助調整等を行う。	維持	訪問療育相談344件、訪問健康診査9件、外来療育相談480件、施設支援一般指導5件を行った。	○	障害者自立支援課
201	心身障害児居宅生活支援費障害者自立支援介護給付(障害児の福祉サービス)	障害者(児)の日常生活の支援等のサービスを提供する。	維持	平成20年度の支給実績	○	障害者自立支援課
202	心身障害者(児)施設管理運営経費	心身障害児総合通園センターの管理運営を社会福祉事業団に委託	維持	心身障害児総合通園センターの管理運営を社会福祉事業団に委託し、実施した。	○	障害企画課
203	心身障害児施設への入所	心身障害児を施設に入通所させて、これを保護するとともに、将来にわたって必要な療育・訓練(一部施設では療養)を行う。	維持	延べ 1,185件へ支給を行った。	○	障害者自立支援課
204	心身障害児施設地域療育事業(障害者福祉措置)	やむを得ない理由により、一時的に保護が必要な場合に、施設等に短期入所措置し保護する。	維持	障害者福祉措置制度として、障害児も含め実施している。	○	障害者自立支援課
205	重症心身障害児(者)通園事業	重症心身障害児(者)に対し、通園の方法により日常生活動作、運動機能等に係る訓練、指導等必要な療育を行うとともに、保護者等にも療育技術を習得してもらう。	維持	延べ 151件へ支給を行った。	○	障害者自立支援課
206	トイライブラリー	心身障害児が、おもちゃを通じて遊ぶことにより、機能回復及び能力発達を促進する。	維持	利用人数:302人、貸出数:65点	○	障害者自立支援課
207	重度障害児(者)日常生活用具給付事業(障害者自立支援日常生活用具給付)	障害者(児)に対し、日常生活用具を給付する。	維持	地域生活支援給付として日常生活用具の支給を障害児も含めて実施した。	○	障害者自立支援課

プランNO.	事業名	事業内容	今後の方向性	20年度実績 執行状況	20年度実績 進捗状況	所管課
208	身体障害児補装具給付事業（障害者自立支援補装具給付）	障害者（児）に対し、補装具を給付する。	維持	障害者自立支援給付として舗装具の支給を障害児も含めて実施した。	○	障害者自立支援課
209	桜木園管理運営経費	重症心身障害児施設の管理運営を千葉市社会福祉事業団に委託	拡充	重症心身障害児施設の管理運営を千葉市社会福祉事業団に委託し、実施した。	○	障害企画課
210	障害児福祉手当支給事業	年4回手当を支給する。	維持	延4,400件の助成を行った。	○	障害者自立支援課
211	心身障害児童福祉手当支給事業	年3回手当を支給する。	維持	延11,242件の助成を行った。	○	障害者自立支援課
212	心身障害児医療費助成事業	医療費の自己負担額を助成する。	維持	延13,904件の助成を行った。	○	障害者自立支援課
213	児童福祉法外援護事業	補装具の交付・修理、日常生活用具の給付に伴う自己負担額を国基準の1／2とする。	維持	障害者自立支援法の施行により原則1割とされた自己負担額について、激変緩和措置として、補装具の交付・修理、日常生活用具の給付に伴う自己負担額は平成20年度は国基準の2/3とした。	○	障害者自立支援課
214	普及・啓発事業費(心の輪を広げる体験作文，障害者週間のポスター)	「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」を一般に広く募集し，内閣府へ優秀作品の推薦を行う。	維持	応募作品数：作文　15点、ポスター　8点。なお、12月6日の障害者福祉大会で、作文・ポスター各2名の最優秀賞受賞者を表彰した。なお、内閣府と共催で優秀作品のパネル展を開催した。	○	障害企画課
215	肢体不自由児激励会事業	肢体障害児と保護者の交流と親睦を図る。	維持	日時：平成20年12月20日（土）　会場：千葉市ハーモニープラザ　多目的ホール。参加者数：223人	○	障害者自立支援課
216	知的障害児激励会事業	知的障害児と保護者の交流と親睦を図る。	維持	日時：平成20年6月27日（金）　会場：ポートアリーナ、参加者数：1,495人	○	障害者自立支援課

プランNO.	事業名	事業内容	今後の方向性	20年度実績 執行状況	20年度実績 進捗状況	所管課
217	特別児童扶養手当支給事業	特別児童扶養手当の支給（4、8、11月の年3回、千葉県が支給、全額国費）に係る取扱事務	維持	特別児童扶養手当の認定請求書等を受理し、千葉県へ進達する。また、千葉県が支給決定等をしたものに対し、支給決定通知書及び受給者証等を送付した。	○	障害者自立支援課
218	子育て短期支援事業（ショートステイ事業）	保護者が病気や社会的理由により、家庭での養育ができない場合に一時的に児童福祉施設等で養育を行う。	拡充	市内4か所の児童養護施設等に委託し実施した。	○	子育て支援課
219	子育て短期支援事業（トワイライトステイ事業）	保護者が仕事等で恒常的に帰宅が夜間にいたる場合や休日に不在の場合などに児童養護施設で夕方から夜間、休日に養育を行う。	拡充	市内3か所の児童養護施設等に委託し実施した。	○	子育て支援課
220	里親制度	保護者のいない子どもや保護者の事情で育てられない子どもの養育を里親に委託し、要保護児童の福祉の増進を図る。	維持	保護者のいない子どもや保護者の事情で育てられない子どもの養育を里親に委託し、要保護児童の福祉の増進を図った。委託児童　延べ275人	○	子ども家庭福祉課
221	児童自立支援施設	不良行為を行った、または、そのおそれのある児童を施設に入所させ自立のための支援を行う。	維持	不良行為を行った、または、そのおそれのある児童を施設に入所させ自立のための支援を行った。 1施設　延べ38人	○	子ども家庭福祉課
222	退所児童自立定着指導	児童養護施設や自立支援施設を退所した児童で、就職したが定着できない概ね1年未満の児童に対し、施設に依頼し、施設職員が児童を訪問し定着のための指導を行う。また、就職したが、定着できない児童を自立援助ホームに入所させ、自立へ向けて生活指導を行う施設に支援を行う。	拡充	自立援助ホーム（1か所）へ助成した。訪問指導を実施した。	○	子ども家庭福祉課
223	児童養護施設	保護者がいない、または、保護者等の事情により家庭での養育が困難な児童を施設に入所させ、生活、学習などの指導育成を行い、自立のための支援を行う。また、老朽化している施設の整備・改築を図る。	拡充	家庭での養育が困難な児童を施設に入所させ、生活、学習などの指導育成を行い、自立のための支援を行った。18施設、延べ1,633人	○	子ども家庭福祉課
224	乳児院	保護者がいない、または保護者等の事情により家庭での養育が困難な乳児を施設に入所させ養育する。	維持	保護者がいない、または保護者等の事情により家庭での養育が困難な乳児を施設に入所させ養育した。1施設、延べ206人	○	子ども家庭福祉課
225	一時保護所運営事業	里親や児童養護施設などへ措置するまでの間一時保護を行う。その間行動観察，生活指導を実施し，援助方針会議，判定会議を経て児童の援助方針を決定する。	維持	里親や児童養護施設などへ措置するまでの間一時保護を行う。 年度内一時保護人員139人・延人員11，063人	○	児童相談所

プランNO.	事業名	事業内容	今後の方向性	20年度実績 執行状況	20年度実績 進捗状況	所管課
226	母子家庭等就業自立支援センター事業	母子家庭の経済的自立を支援するため、就業相談や講習会の実施など就業支援サービスを拡充する。	拡充	母子家庭等の就職相談を実施し、就業を支援する。また、就業支援講習会として、パソコン講習会を3回開催した。	○	子育て支援課
227	母子家庭自立支援訓練給付金事業等	より良い就業に向けた能力を開発するために「自立支援教育訓練給付金」「母子家庭高等技能訓練促進費事業」を実施する。	新規	自立支援教育訓練給付金、高等技能訓練促進費を支給した。	○	子育て支援課
228	ひとり親家庭生活支援事業	ひとり親家庭の生活基盤の安定を図るため、「生活支援講習」、「児童訪問援助」他をメニュー化実施する。	新規	平日や昼間に育児や生活一般に関すること等について相談する時間をつくれないひとり親のため、土日・夜間電話相談を実施した。	○	子育て支援課
229	母子生活支援施設改善整備事業	老朽化の著しい母子生活支援施設の入所者の処遇向上を図るとともに、DV対策のための緊急一時保護用居室を含めた改築整備を行う。	新規	H18終了	終	子ども家庭福祉課
230	児童虐待防止推進事業（児童虐待及びDV防止連絡協議会運営）	児童虐待及びDVの防止に関し、関係機関、関係団体等が共通の認識と理解を持ち、緊密な連絡体制を構築することにより、児童虐待及びDVの発生予防と早期発見・早期対応の一層の推進を図るため、外部委員を含めた連絡協議会を開催する。	維持	関係者間の共通の認識と理解を図り、連携体制をより一層充実させた。	○	男女共同参画課
			維持	児童虐待及びDV防止推進所属長会議を開催した。（1回開催）	○	子ども家庭福祉課
231	児童虐待対策事業	すべての児童の心身の健全な成長を促すため、児童虐待を防止し、虐待の早期発見、早期対応、保護、支援に至るまでの取り組みを図る。なお、「児童虐待の防止等に関する法律」の一部改正に伴い、虐待の定義及び通告範囲の拡大、さらにはマスコミ等による虐待事件の報道がなされることなどから虐待の通告が増加しているため、福祉事務所等関係機関との連携強化を図る。	拡充	児童虐待通告への対応・処理を行う。20年度対応件数406件。	○	児童相談所
232	育児支援家庭訪問事業	4か月、1歳6か月児、3歳児健康診査等の結果、様々な原因で育児不安の強い家庭・育児ストレス等の問題によって、子育てに対して不安や孤立感を抱える家庭、または虐待に至る恐れ等のリスクを抱える家庭に対する育児指導等を行う。今後、事業内容の充実を図る。	拡充	養育困難家庭・健診未受診者家庭を対象とし育児支援のために各区週4日の家庭訪問を実施した。	○	子育て支援課

プランNO.	事業名	事業内容	今後の方向性	20年度実績 執行状況	20年度実績 進捗状況	所管課
233	専門職員向け「虐待発見・対応マニュアル」の改正	「児童虐待の防止等に関する法律」の一部改正に伴い、児童虐待の兆候を早期に発見し、関係機関と連携して対応するためのマニュアルを改正し、学校等関係機関に配布する。	拡充	第2次改正虐待防止法の平成20年4月施行に併せ改正を行い、2,500部を作成した。	○	児童相談所
234	MCG（マザー＆チャイルドグループ）	グループミーティングによる親と子の関係づくりを支援する。今後、事業内容の充実を図る。	拡充	保健所で月2回、各保健福祉センター・保健センターで月1回、実施した。	○	子育て支援課
235	育児ストレス相談	1歳6か月児健診等により育児不安等で悩んでいる保護者を対象に心理士・保健師が個別相談を実施する。	維持	各保健福祉センター・保健センターで、144回（各区で毎月2回、年24回）実施した。	○	子育て支援課
236	母子緊急一時保護事業	DV被害者等緊急一時的に保護を必要とする母子をシェルター等の施設で保護を行う。	維持	DV被害者等緊急一時的に保護を必要とする母子を母子生活支援施設で保護した。1施設、延392人	○	子ども家庭福祉課
237	児童虐待相談体制の整備	児童相談所において、夜間・休日を問わず、いつでも相談に応じられる体制の整備を図る。また、市内社会福祉法人において児童家庭支援センターの整備・拡充を行い子どもに関する様々な相談への対応を図るとともに、児童相談所との連携を図る。	拡充	新たに1か所、社会福祉法人が新設する児童家庭支援センターに補助を行い、子どもに関する相談体制を強化した。（計3か所）	○	子ども家庭福祉課
				夜間に相談員1名（輪番制）を配置し、子どもに関する相談体制の強化を図った。	○	児童相談所

基本目標8　子どもの安全の確保

【進捗状況欄】○・・・概ね実施した　－・・・今後実施予定　×・・・当該年度事業予定なし　終・・・事業終了

プランNO.	事業名	事業内容	今後の方向性	20年度実績 執行状況	20年度実績 進捗状況	所管課
238	交通安全教育事業	子どもの交通安全を図るため、安全交通推進員が小学校・保育所等を訪れ，交通安全教室を開催し、交通ルールとマナーの指導・啓発活動を行う。	拡充	交通安全教室を196回実施した。	○	地域安全課
239	学校セーフティウォッチ事業	児童生徒の登下校時の安全を確保するために、通学路の見守りや学区のパトロール等を行う学校ごとに地域住民・保護者等にの養成学校安全ボランティアを、するための支援を行う。	新規	学校セーフティウォッチャーの登録者数は、21年3月末現在で約17，000名。泉谷中学校区をモデル地域として、地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業を進めた。	○	学事課
		学校ごとに地域住民等の「学校安全ボランティア」を育成し、校内パトロール、通学路、横断歩道の見守りなどを行うことについて検討する。	新規	小学校1年生に防犯ブザーを貸与し、防犯教育を実施した。(9,524個)	○	保健体育課
240	乳幼児の事故予防教育の強化	医師・保健師等による乳幼児におこりやすい事故予防の講演会を実施する。今後、内容の充実を図る。	拡充	乳幼児の親を対象とした講演会を各区1回は開催するとともにパンフレット等の活用を図った。	○	子育て支援課
241	救命講習会の推進	応急手当の講習会を実施する	維持	救命講習会を486回開催し、9,047名が受講した。	○	救急救助課
242	防犯対策事業(防犯パトロール隊支援事業・防犯カメラ設置事業・落書き消去活動支援事業・青色防犯パトロール事業)	地域住民による自主的防犯活動を推進するため、防犯活動を実施している団体に対しパトロールに必要な物品を提供する。犯罪防止のため、防犯カメラの設置と落書き消去活動を支援するなど、地域と連携した防犯活動を推進する。 H18.6月から青色防犯パトロール車による巡回活動を開始	拡充	**防犯カメラ10基の管理を行った。防犯パトロール隊208団体に対して支援を行った。落書き消去支援を8団体に対して行った。青色防犯パトロール事業は、車両6台で、2中学校区毎に巡回した。**	○	地域安全課
243	防犯対策事業(防犯街灯補助金交付事業)	夜間、歩行者が安全に通行できるよう町内自治会等が設置する防犯街灯について設置費や管理費等の補助を行うなど、街灯の設置を推進する。	維持	48,606灯の管理費、3,957件の修理費、329灯の設置費の一部について補助金を交付した。	○	地域安全課
244	住宅の防犯性向上と防犯に関する意識の啓発を含めた住情報の提供	住宅の防犯性を高めるための設計・設備等の普及を図るとともに、住宅における防犯に関する意識の啓発を行う。	新規	「すまいアップコーナー」で防犯に関する情報(冊子等)を提供した。	○	住宅政策課

プランNO.	事業名	事業内容	今後の方向性	20年度実績		所管課
				執行状況	進捗状況	
245	「青少年の日」関連行事（仮称）	青少年の健全育成に悪影響を与える雑誌類の自動販売機や違法広告物の撤去活動及び覚せい剤や麻薬等の乱用防止のため、関係機関・団体及び地域住民が一体となって環境浄化活動を推進する。 （式典の開催や、青少年の健全育成に功労のあった個人・団体を表彰する。（平成20年度は、式典のみ））	維持	20年度に新規事業に移行	終	青少年課
246	子ども110番の家	児童・生徒の登下校の安全を確保するため、地域住民の協力をいただき、緊急避難場所として「子ども110番の家」を青少年育成委員会を通して依頼し、ステッカーを掲示し、地域ぐるみで子どもたちの安全を守る。	維持	「こども110番のいえ」指定・登録10,771件	○	青少年課